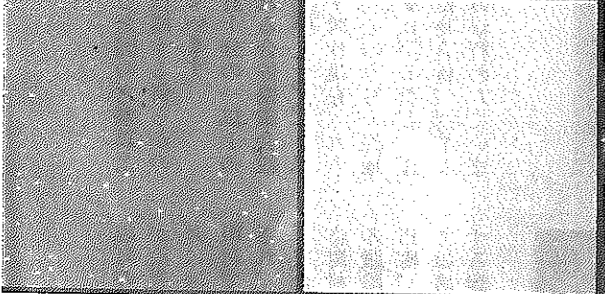




特集 市町村合併を考える⑤



CONTENTS (もくじ)

- 市町村合併を考える⑤ 2、3
- 市政クリップ、おしゃべりさん 4、5
- 平成13年白根市の交通事故状況 6、7
- 水道水の水質検査結果 8
- まちの話題 9
- お知らせ 10~13
- みんなのページ 14
- ズームアップ 16

表紙 成人式 (5月3日)



広報 しろね

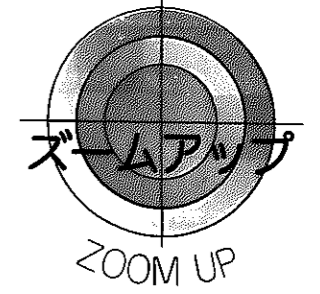
6. 1
2002 No.616



▶4月13日、会場の東北電カクリンプラザにて。お年寄りから子どもまでの幅広い人たちが訪れ、色鉛筆の優しいタッチで描かれた作品を鑑賞。その表情には自然と笑みが



◀愛犬「姪」をモデルにした作品。羽田さんのお気に入りの一つ



たくさんの人に笑顔を



羽田 紗織 さん

四月十一日、新潟市内の小さなギャラリーで個展が開かれました。「かわいい」「色が淡くてきれい」。展示された百点近くの子どもの動物たちの絵に、見る人たちが自然と笑みがこぼれてきます。見る人を笑顔に変えていくこれらの絵は、羽田紗織さん(二十三歳・大通南四)によるものです。小さいころから絵を描くことが好きな羽田さんは、高校三年生の夏にクロイン病を発病し、以来、入退院を繰り返しています。ある日、看護師さんの飼っている猫を描いた絵が病院内で好評となり、次々に絵を頼まれるように。昨年の秋に同じ病室のおばあさんから「個展をやってみたら」と勧められ、羽田さん自身も「私の絵で多くの人に笑顔になってほしい」と思い、個展を開く決心をしました。個展は六日間開催され、訪れた人は約千四百人。その中で同じ病気を患った人と交流したり、自分の絵でほえむ人を見たりして「個展を開いて良かった」と羽田さん。「できれば年内にもう一回個展を開き、たくさんの人に見てほしい。そしていずれは絵本にも挑戦していきたいです」と、絵と同じ優しく明るい表情がそこにありました。

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

▶数字で見る市勢 ※5月1日現在 ※()内は前月比

| | |
|----|-----------------|
| 人口 | 40,754人 (+47人) |
| 男 | 19,963人 (+9人) |
| 女 | 20,791人 (+38人) |
| 世帯 | 11,331人 (+47世帯) |
| 出生 | 35人 |
| 死亡 | 38人 |
| 転入 | 167人 |
| 転出 | 117人 |

4月中

編集ルーム ◎「失敗は成功のもと」...昔の人はなんて良いことを言うのでしょうか。今のわたし、この言葉を頼りに生きています。◎4月の人事異動で広報担当に。見るもの聞くこと触るもの、初めてだらけです。毎日さまざまな失敗を犯し、たくさんの人に迷惑を掛け続けています。◎しかし! これらの失敗が成功に結びつくよう頑張ります! ので、市民の皆さん、どうか長い目で... (あ)

ギネス大風(白根)

風の話に「古典」があるとすれば、白根のギネスの大風もその部類に入るかもしれません。一九八一年版ギネスブック「忍耐と努力の最大の風」に「一九八〇年三月二十日、白根で縦十九メートル、横十四メートルの風が揚げられた」と記されました。寒い日でした。雪解けの水でぬかるんでいる大通の埋め立て地で、百六十分の一畳の大風を揚げたのです。風は三十分の間、空の遊泳を楽しんでいるかのように見えた。二百五十人の揚げ手も、そして大風も、快挙に酔いました。「白根ってスゴイ」。世界も白根の大風の技術を認めてくれました。

三百余年の歴史を持つ大風合戦。風を戦わせたばかりに、異常と言えほどの研究と努力を重ねてきたのです。その集大成がギネスの大風揚げの成功でした。この技術は世界に誇ることのできる白根の宝物です。代々伝えられてきた「技」を次の世代に引き渡し、二十世紀になっても輝いている風合戦であってほしい。切なる願いです。



あなたも風博士

文・田村和雄
(しろね大風と歴史の館運営委員会委員)